

事業番号	11 08 05	事業改善シート(27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州型エコ住宅推進事業費				担当課	部局	建設部	
						課・室	建築住宅課	
総合5か年計画	プロジェクト	3-1-3 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト			E-mail	kenchiku@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 2 信州の木の利用促進 3-1 低炭素で循環型の地域社会づくり 1 地球温暖化対策と環境・エネルギー政策の推進			実施期間	H22 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	県産木材を使用し十分な断熱性能を有するエコ住宅に助成することにより、環境エネルギーに配慮された良質な木造住宅の普及を図り、長野県環境エネルギー戦略(第三次長野県地球温暖化防止県民計画)の推進とともに、地域の住宅産業の活性化を図る。		
現状(予算編成時)	<input type="checkbox"/> CO2削減効果推計:631t(一般180件、低炭素30件推計) <input type="checkbox"/> 県産材使用量推計:3,780㎡(180件推計)		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】	
	県民との協働による実施: 実施中	<input type="checkbox"/> 県産材の利用拡大は市町村単位ではなく広域的な取組が必要 <input type="checkbox"/> 社会資本総合整備交付金等を有効活用しながら実施することが効果的	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)						
	<input type="checkbox"/> 信州型エコ住宅助成件数 平成25年度160戸→平成26年度140戸(見込み)→平成27年度130戸 <input type="checkbox"/> 低炭素認定型住宅助成 平成25年度25戸→平成26年度20戸(見込み)→平成27年度20戸 <input type="checkbox"/> 環の住まい認定住宅県産木材使用量 平成25年度16.2㎡→平成26年度20㎡(見込み)→平成27年度20㎡						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H27事業実績	H27(当初)	H27(決算)	H28(当初)
		1ふるさと信州・環の住まい助成金	補助金	・ふるさと信州・環の住まい認定住宅に対する助成 ※50万円/戸×(122戸(H27募集分)+15戸(H26募集分))	75,000	68,500	20,000
	2認定低炭素加算適用住宅助成金	補助金	・ふるさと信州・環の住まい助成金に加えて「エコまち法に基づく認定低炭素住宅の基準」に適合する住宅に助成金を加算 ※加算30万円/戸×(10戸(H27募集分)+5戸(H26募集分))	6,000	4,500	8,000	
	信州健康エコ住宅助成金	補助金	—	0	0	52,500	
	周知、認定等経費	直接	—	0	0	180	
			合計	81,000	73,000	80,680	

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越			0	
	当初予算	110,530	100,530	81,000	80,680
	補正予算	-15,000	-12,000	0	
	合計(A)	95,530	88,530	81,000	80,680
	一般財源	47,765	44,265	40,500	44,374
	県債				
	国庫支出金	47,765	44,265	40,500	36,306
	その他	0	0	0	0
	決算額(B)	95,019	83,320	73,000	
概算人員費	職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.60
	概算人員費(C)	4,129	4,129	4,138	4,966
	概算事業費(B(A)+C)	99,148	87,449	77,138	85,646

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
信州型エコ住宅助成	134戸	130戸	122戸	未達成	-
低炭素認定型	21戸	20戸	15戸	未達成	-
環の住まい認定住宅県産木材使用量(㎡/戸)	22.01㎡	20㎡	21.01㎡	達成	-
助成件数	-	-	-	-	105戸
県産認定木材出荷量(民間)	-	-	-	-	5,900㎡

目標に対する成果の状況	H26募集(債務負担行為)分の件数が伸びなかった影響を受け、助成件数は未達成となったが、県産木材使用量は概ね目標を達成した。H27募集分については、年度途中には予算額に達して募集を終了している状況であり、ホームページ、チラシ、ラジオ等による工務店や一般向けの周知の効果があったものと思われ、環境やエネルギーに配慮した木造住宅の普及を図ることができた。
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 H28年度からは、事業効果の向上を図るため、助成要件や申請手続についてより利用しやすい制度に見直し、「信州健康エコ住宅推進事業」を実施する。省エネルギーや県産木材使用に特化した助成要件とすることで、健康の維持・増進にも効果が期待される環境配慮型住宅の普及と、地域の住宅産業の活性化を図っていきたい。
--------------------	--